

(別紙4(2))

事業所名：グループホーム やすらぎホーム鴨方

## 目標達成計画

作成日：令和4年9月29日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5 (4)	新しい管理者と市町村との関係を深めるために、管理者も足を運んでみてはいかがでしょうか。	・制度や施設運営に関する疑問等を直接来所し、相談することができる。 ・上記のみならず、行政との連携を要する事項(感染関連等)を適宜相談・連絡・報告し、密な連携を図ることができる。	・変更届を検討する際には事前相談を行い、疑問点を残すことなく申請できるようにする。 ・運営推進会議を活用し、運営面の助言を求める。 ・感染症に関する事項については、発生時の人員配置面等、判断が難しい際には、必ず助言を求める。 ・可能であれば来所し、担当者の交流を深める。	6ヶ月
2	26 (10)	適正な介護を行える体制を構築してみてはいかがでしょうか。	・24時間シートの導入を検討し、ユニット全体業務の見える化を進めることができる。 ・上記により、業務が集中する時間帯に効果的に人員配置が行えるよう、勤務シフトを検討することができる。 ・全職員に周知徹底できる理念やモットーを掲げ、実践できる。	・ユニットケアに関する勉強会を企画し、職員の理解を深める。 ・居室担当制を進め、職員個々人がより深く入居者の理解が深められるよう、システムを再構築する。 ・周知徹底できる理念やモットーを作成し、唱和する機会を設ける。 ・新たに策定した理念等に基づいた個人目標を掲げてもらう。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。